

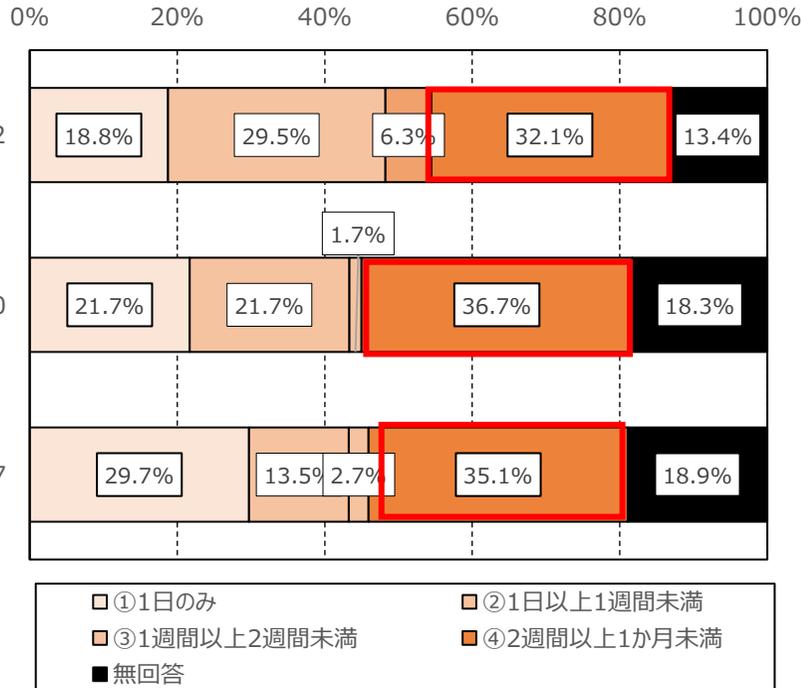
短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

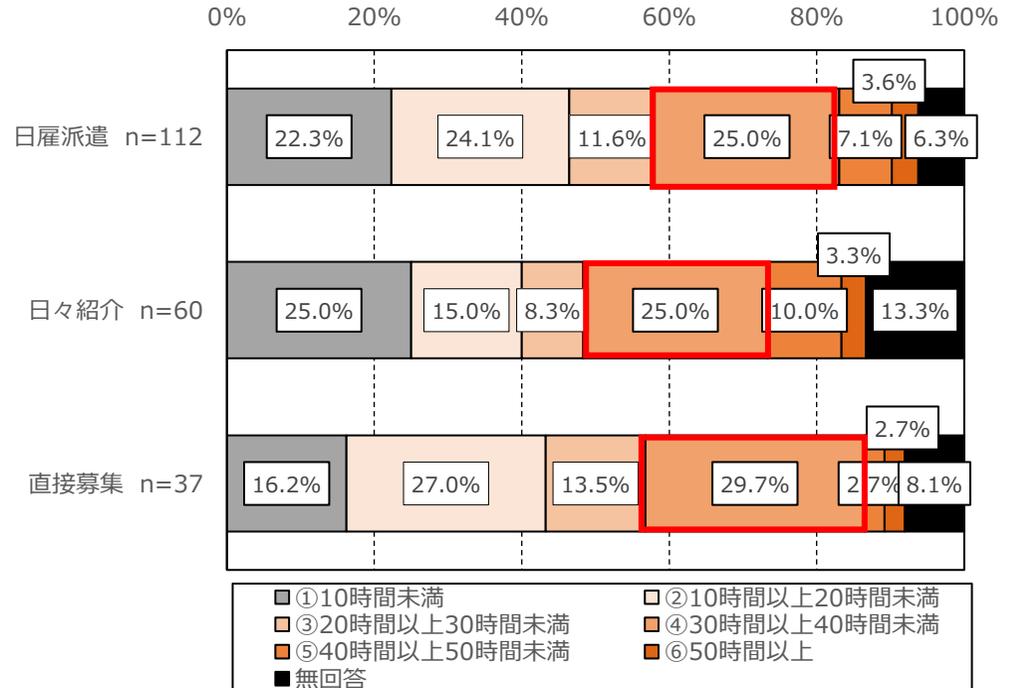
#### ① 契約期間・労働時間

- 契約期間は、いずれの短期の就労形態でも「2週間以上」の派遣又は雇用契約が最も多い。
- 1週間の総実労働時間は、いずれの短期の就労形態でも「30時間以上40時間未満」が最も多い。

平均的な派遣・雇用契約期間



1週間の総実労働時間



### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ① 契約期間・労働時間（雇用契約）

- 通常派遣においては、1年以上の雇用契約が最も多い。
- 日々紹介において、1日のみの雇用契約が日雇派遣よりも多い。

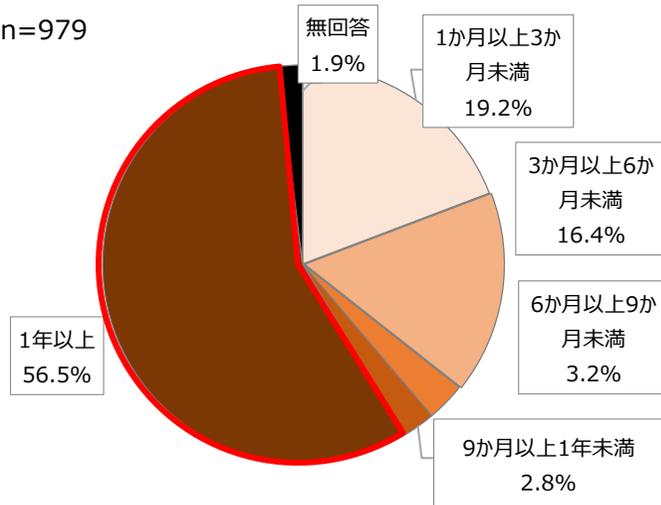
#### 雇用契約期間

通常派遣

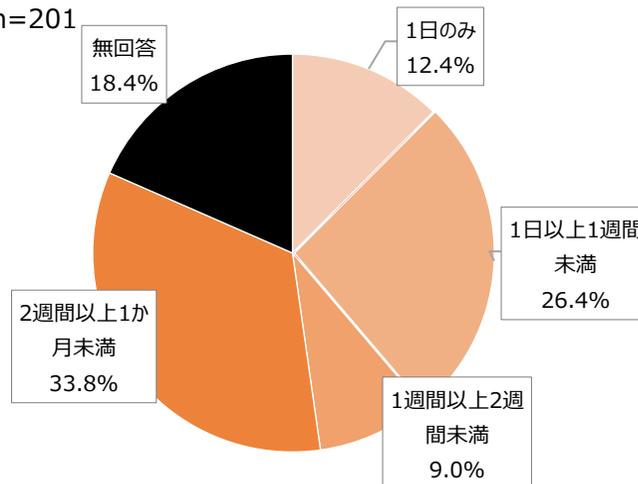
日雇派遣

日々紹介

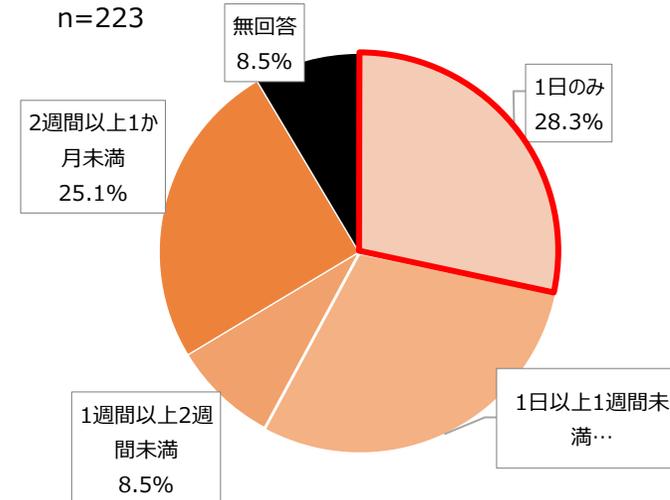
n=979



n=201



n=223

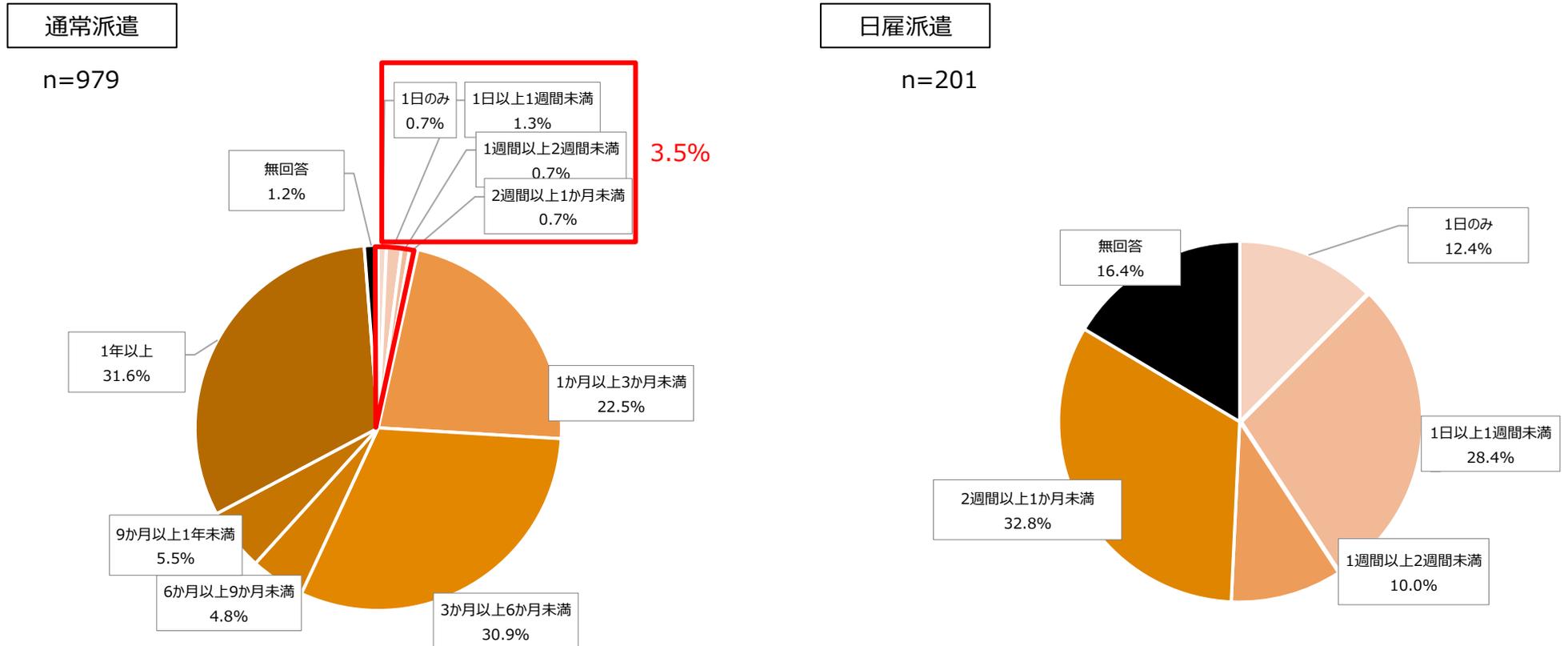


### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ① 契約期間・労働時間（派遣契約）

- 通常派遣においても、約3.5%の事業所が1か月未満の派遣契約を活用し、短期的な労働力を供給している。

#### 派遣契約期間

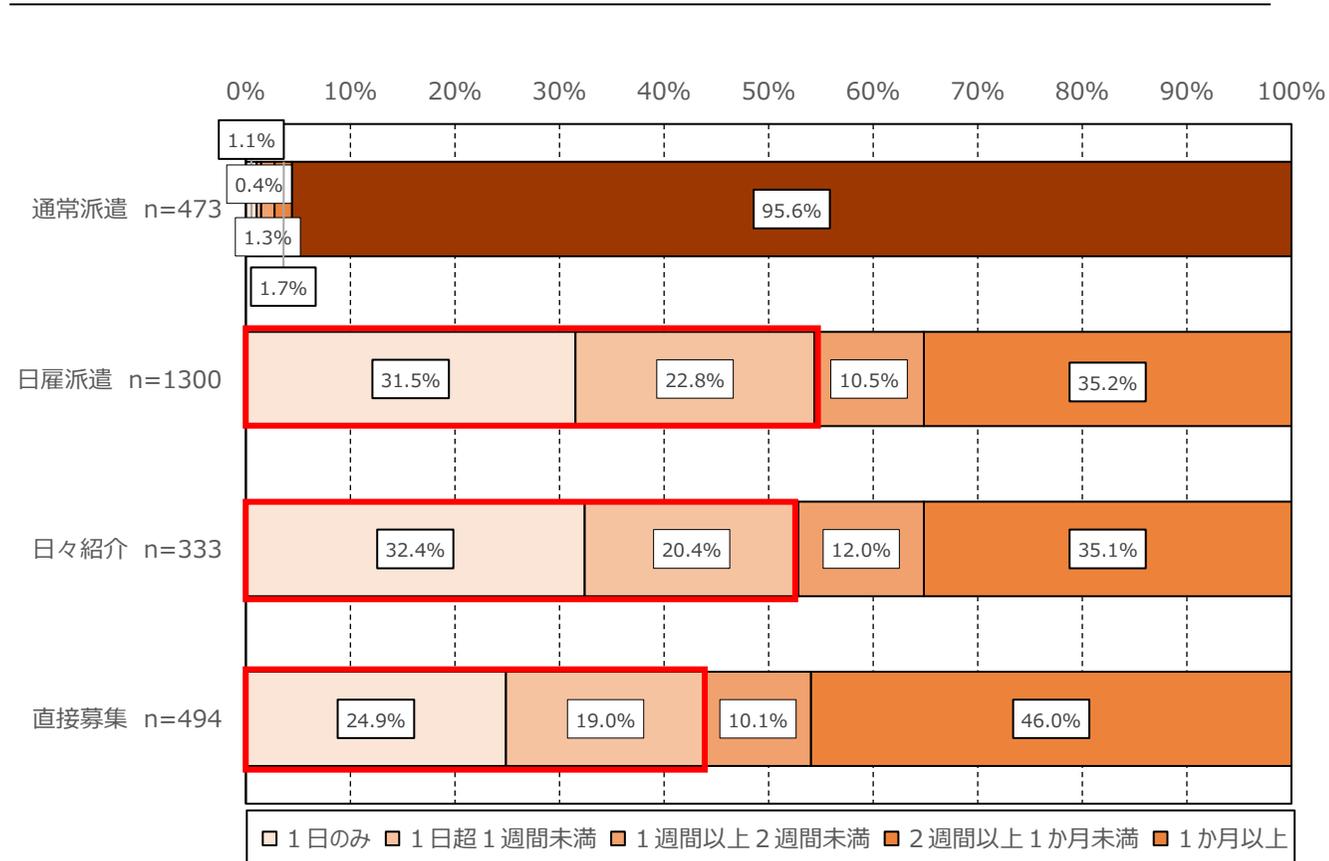


### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ① 契約期間・労働時間（契約期間）

- 日雇派遣、日々紹介においては約30%程度が「1日のみ」の労働であり、「1日のみ」と「1日超1週間未満」を合計すると、1週間未満でおよそ半数を占めていた。
- 直接募集については、「2週間以上1か月未満」の割合が高く、他の短期就労形態と比較すると期間が長い傾向と言える。

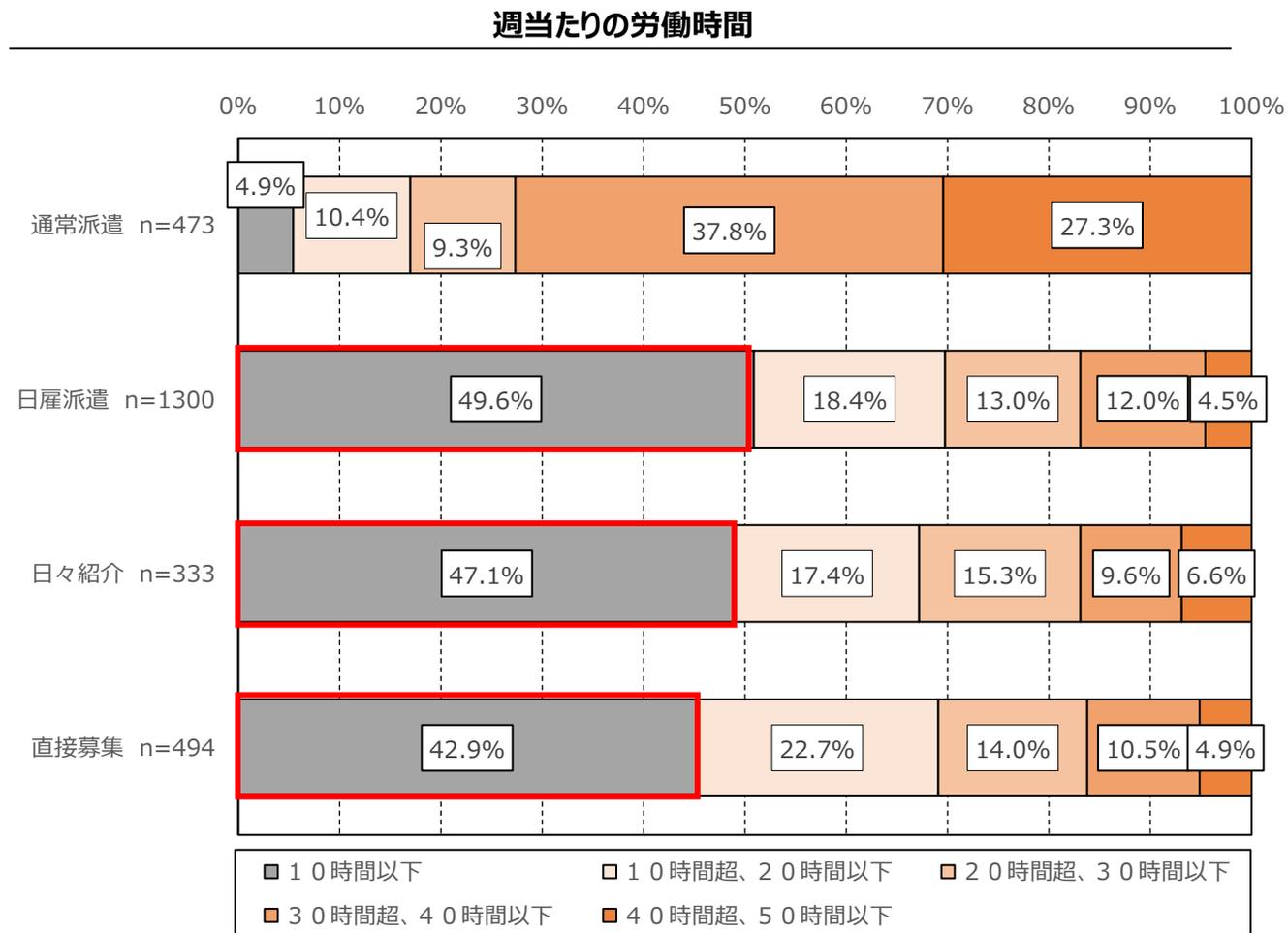
実際に働いた期間



### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ① 契約期間・労働時間（労働時間）

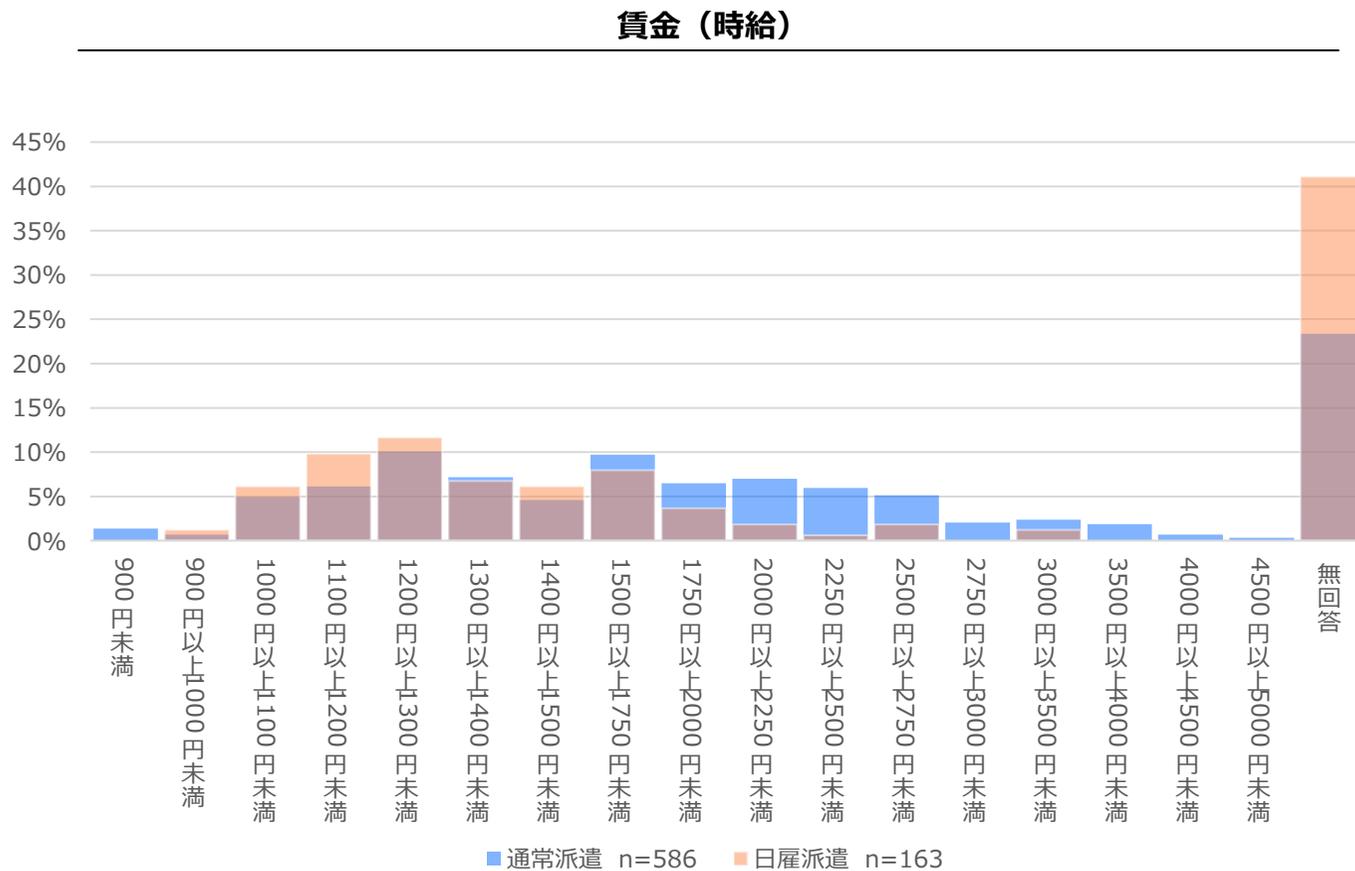
- 短期就労3種類のなかでは週当たりの労働時間に大きな傾向の違いは見られず、「10時間以下」との回答が最も多く、40%を超えていた。



### (3)短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ②賃金

- 通常派遣と日雇派遣の賃金を比較すると、通常派遣の方が賃金が高い傾向にある。



### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ② 賃金（賃金水準）【具体事例】

- c社では、日々紹介については紹介先が賃金を設定するが、派遣先/紹介先に応じて労働者の賃金が無意味に上下しないよう、賃金が同等となるように交渉することがある。

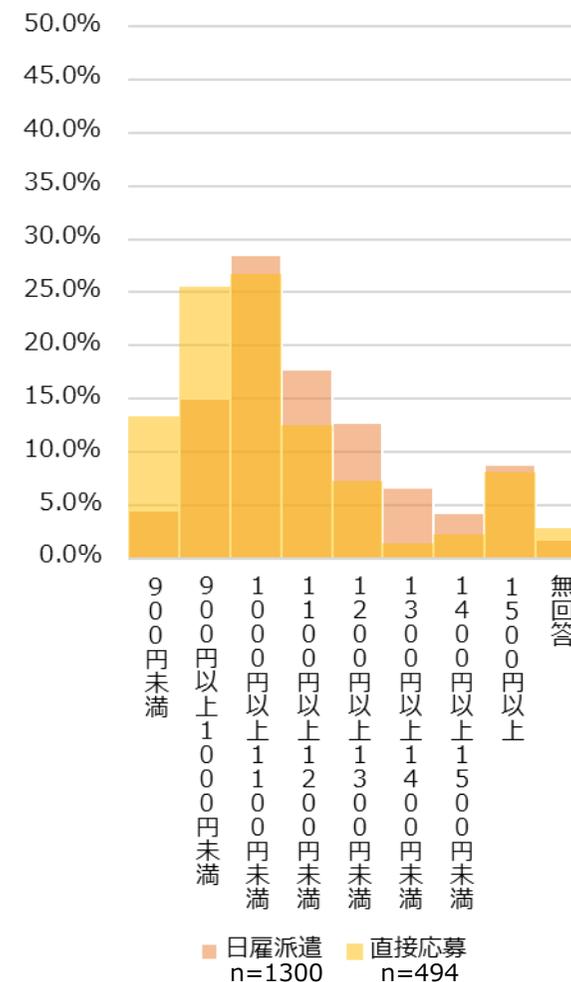
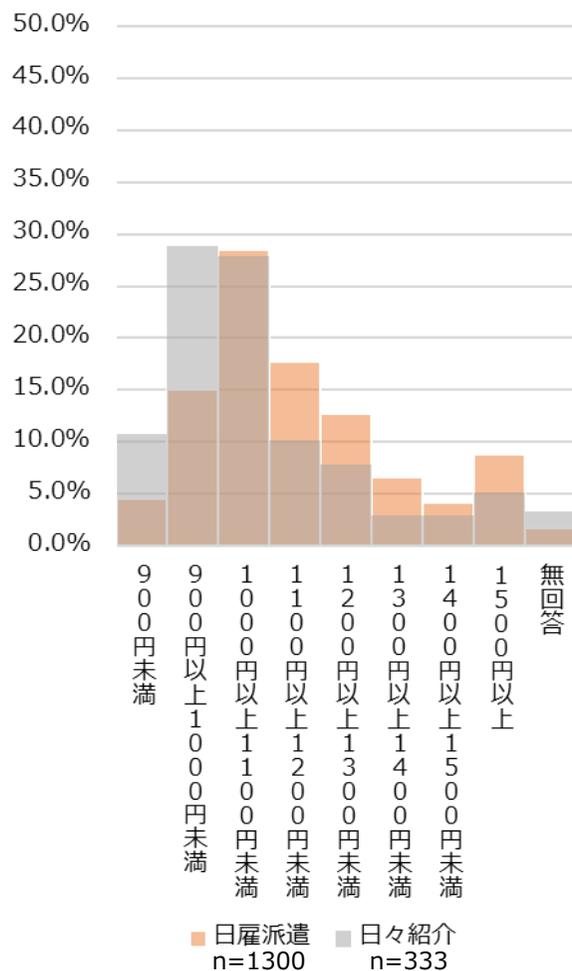
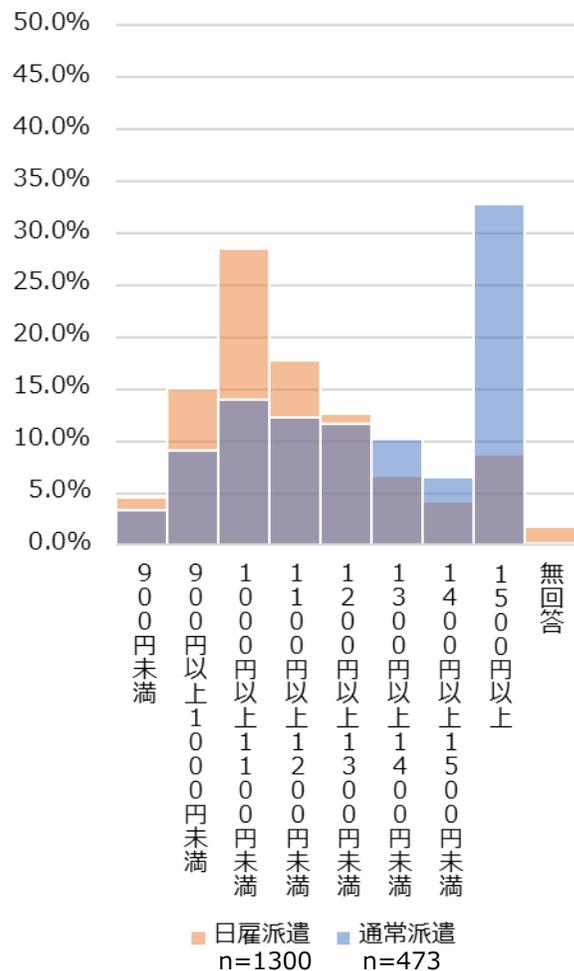
派遣/紹介職種		具体事例
a社 (関東)	販売 (営業を含む)	日々紹介労働者の賃金は紹介先事業所が決定しており、派遣元/紹介元事業所から賃金に対して交渉を行うことはない。
c社 (九州)	サービス職業	登録労働者が一定期間以上自社のサービスを活用して就労することを想定しており、派遣先/紹介先に応じて労働者の賃金が労働者の賃金が無意味に上下しないよう、労働者のスキル・経験等に応じて賃金を設定の上、派遣先等に料金を提示、必要に応じて交渉することがある。

### (3)短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ②賃金

- 通常派遣と日雇派遣を比較すると、分布に大きな違いがあり、通常派遣のほうが賃金が高い。
- 一方で、短期就労3種間で比較すると日雇派遣は、短期就労の中では最も賃金が高い傾向であった。

#### 賃金



### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ② 賃金（職種×レベル別の賃金）

- 職種・業務レベル別の2重クロス集計にて賃金水準の分布を確認すると、全ての職種で日雇派遣は通常派遣より賃金水準が低いレベルが存在する。

#### 職種・業務レベル別、賃金

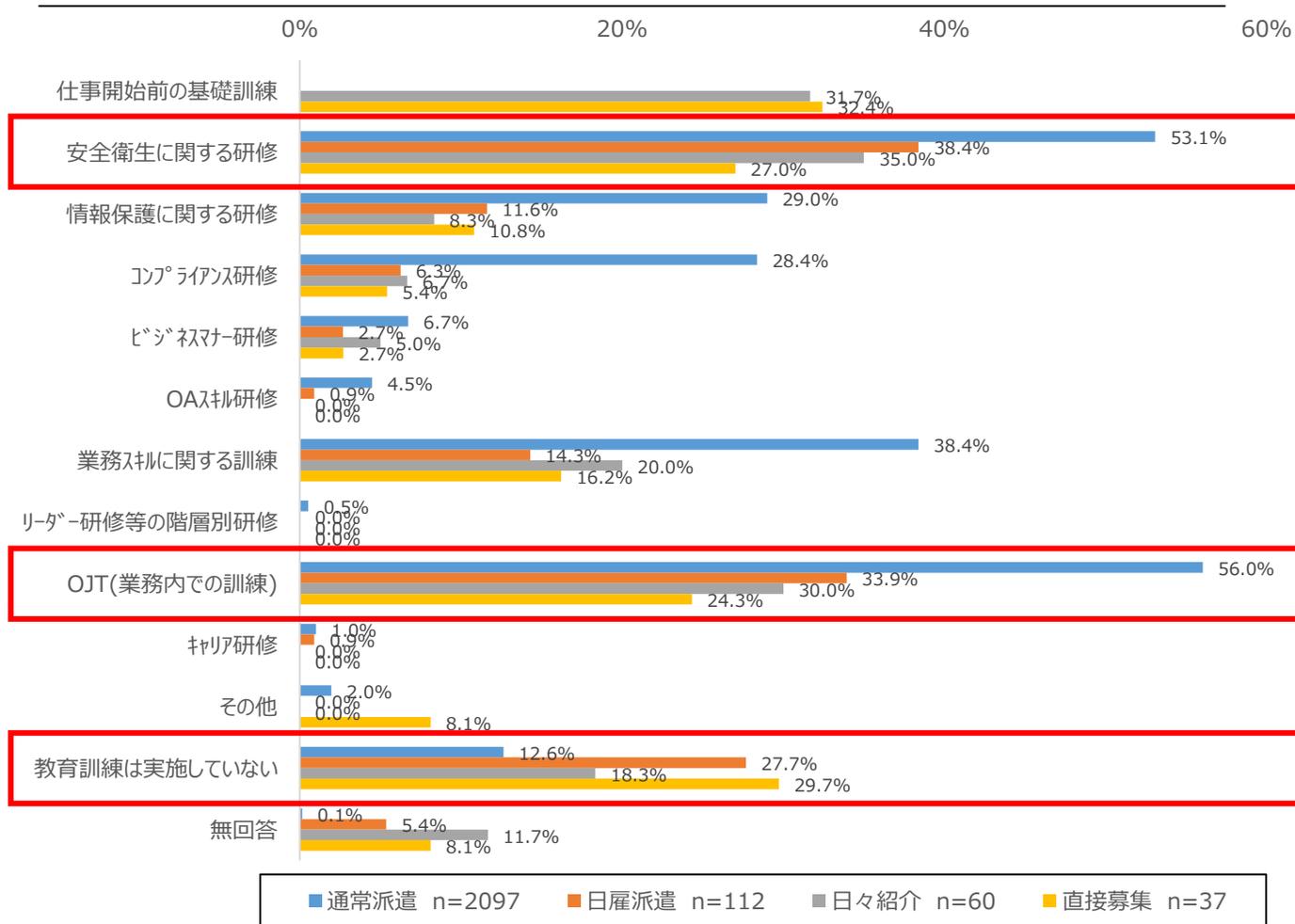
職種・業務レベル別、賃金			職種・業務レベル別、賃金			職種・業務レベル別、賃金		
職種・業務レベル	n数	平均 / 賃金代表値	職種・業務レベル	n数	平均 / 賃金代表値	職種・業務レベル	n数	平均 / 賃金代表値
専門・技術・管理職	236	1,637	現業職	505	1,112	販売・サービス職	708	1,174
未経験でもすぐに行けるレベル	46	1,286	未経験でもすぐに行けるレベル	281	1,091	未経験でもすぐに行けるレベル	327	1,127
日雇派遣	32	1,342	日雇派遣	185	1,106	日雇派遣	189	1,120
日々紹介	3	1,308	日々紹介	55	1,050	日々紹介	42	1,038
直接応募	8	1,122	直接応募	34	1,056	直接応募	84	1,169
通常派遣	3	1,150	通常派遣	7	1,150	通常派遣	12	1,246
1日～1週間程度の経験ができるレベル	54	1,298	1日～1週間程度の経験ができるレベル	134	1,069	1日～1週間程度の経験ができるレベル	232	1,168
日雇派遣	33	1,379	日雇派遣	49	1,056	日雇派遣	107	1,177
日々紹介	6	1,306	日々紹介	35	1,106	日々紹介	40	1,142
直接応募	9	1,031	直接応募	35	1,058	直接応募	64	1,168
通常派遣	6	1,246	通常派遣	15	1,050	通常派遣	21	1,170
2週間以上の経験ができるレベル	136	1,886	2週間以上の経験ができるレベル	90	1,244	2週間以上の経験ができるレベル	149	1,294
日雇派遣	43	1,945	日雇派遣	31	1,203	日雇派遣	50	1,382
日々紹介	11	1,291	日々紹介	19	1,113	日々紹介	26	1,257
直接応募	31	1,772	直接応募	18	1,249	直接応募	41	1,076
通常派遣	51	2,031	通常派遣	22	1,405	通常派遣	32	1,460
生産工程	287	1,101	事務職	562	1,266	分類不能	302	1,151
未経験でもすぐに行けるレベル	144	1,065	未経験でもすぐに行けるレベル	185	1,150	未経験でもすぐに行けるレベル	158	1,099
日雇派遣	104	1,092	日雇派遣	109	1,146	日雇派遣	91	1,120
日々紹介	12	1,000	日々紹介	14	1,014	日々紹介	21	1,030
直接応募	17	963	直接応募	36	1,061	直接応募	31	1,015
通常派遣	11	1,041	通常派遣	26	1,361	通常派遣	15	1,240
1日～1週間程度の経験ができるレベル	93	1,096	1日～1週間程度の経験ができるレベル	186	1,244	1日～1週間程度の経験ができるレベル	85	1,118
日雇派遣	44	1,137	日雇派遣	96	1,230	日雇派遣	56	1,131
日々紹介	8	1,000	日々紹介	14	979	日々紹介	5	1,185
直接応募	9	983	直接応募	25	1,130	直接応募	16	1,063
通常派遣	32	1,097	通常派遣	51	1,397	通常派遣	8	1,100
2週間以上の経験ができるレベル	50	1,211	2週間以上の経験ができるレベル	191	1,401	2週間以上の経験ができるレベル	59	1,351
日雇派遣	12	1,242	日雇派遣	46	1,370	日雇派遣	23	1,280
日々紹介	3	917	日々紹介	10	1,138	日々紹介	9	1,134
直接応募	4	1,117	直接応募	18	1,091	直接応募	14	1,363
通常派遣	31	1,237	通常派遣	117	1,480	通常派遣	13	1,581

### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ③ 教育訓練

- いずれの就労形態でも、教育訓練として「OJT」や「安全衛生に関する研修」が多く実施されており、特に通常派遣では、実施率が5割を超える。
- 日雇派遣/直接募集の就労形態の労働者には、教育訓練を実施していない事業所の割合は3割程度であるが、日々紹介として雇用している労働者に対しては、当該割合が2割程度であり、比較的低い割合であった。

派遣労働者を対象に実施している教育訓練 (MA)

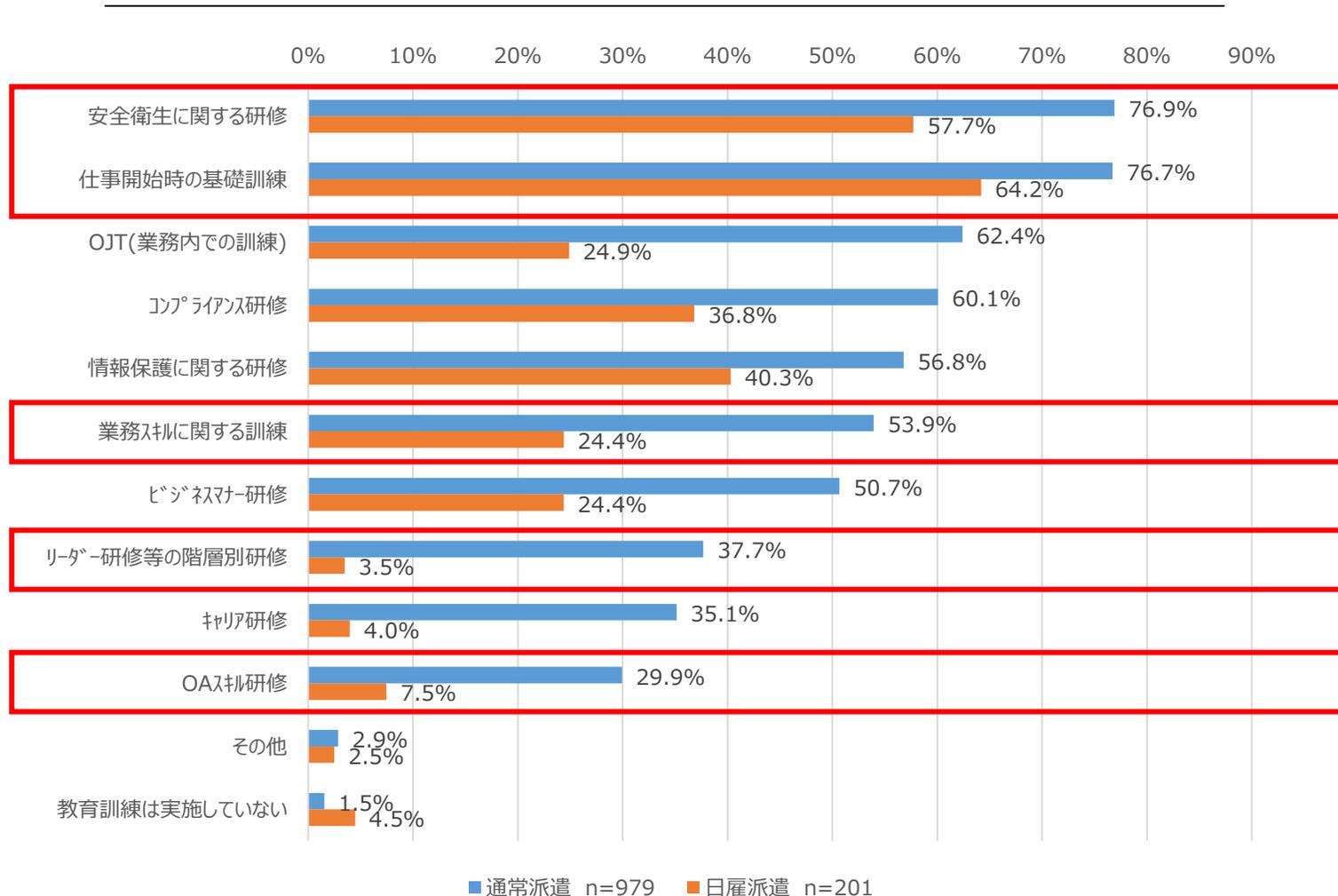


### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ③ 教育訓練

- 通常派遣と日雇派遣ともに教育訓練の実施率は高く、いずれも「安全衛生に関する研修」「仕事開始時の基礎訓練」が多く実施されている。
- 一方で、「業務スキルに関する訓練」「リーダー研修等の階層別研修」「OAスキル研修」等の特定スキルに関する教育訓練は、日雇派遣よりも通常派遣において実施の割合が目立って高い

実施している教育訓練 (MA)



### (3) 短期労働力はどのような労働条件で活用されているのか

#### ③ 教育訓練

- いずれの就労形態でも、「受講したものはなし」とする労働者が6割強であった。
- 受講されている教育訓練をみると、通常派遣と日雇派遣の比較では、「コンプライアンス研修」と「OJT（仕事をしながらの訓練）」の受講について、日雇派遣のほうが回答割合が低かった。
- 短期就労3種での比較では、特段大きな差異は見られなかった。

労働者が実際に受講した教育訓練（MA）

